

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	家庭基礎				
科目コード	9051	科目区分	必修	単位数	2
学習教材	2 東書 家基701				
担当教員	宮田 みち子				

目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習計画

前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント	
前期		1	ライフステージごとの特徴・課題を理解する。自分の特徴や長所に気づき、人生を展望できるようにする。	人生を展望できるように、課題について考え、グループで意見交換・発表を行う。	自分事として、将来の生活設計を考え、意欲を持って取り組んだか。	
		1	男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解し、どのような青年期を生きるかを考えることができるようにする。	教科書を基にしたレポート学習。	現在の社会的状況について、興味を持って理解しようとしているか。	
			2	超高齢社会の日本において、高齢者の経済不安と社会的孤立は深刻な問題となっているが、高齢者との共生社会を考える。	高齢者における生活の課題について考え、ワークシートを活用し、グループで意見交換・発表を行う。	高齢者の立場に立ち考えることができたか。
			2	高齢者、高齢社会、高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解すると共に、介護保険制度についても理解する。	教科書を基にしたレポート学習。	高齢者の心身の変化による生活行動や介護の課題について理解できたか。
後期		3	自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解し、健康で豊かな食生活をはぐくむための工夫を考える。	人生を展望できるように、課題について考え、ワークシートを活用し、グループで意見交換・発表を行う。	自分自身の食生活について関心を持ち、意欲的に改善・向上に努めようとしたか。	
		3	栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。	教科書を基にしたレポート学習。	食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしているか。	
			4	衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につけ快適な衣生活を送るための要因を理解する。	快適な衣生活を送る為の課題を考え、ワークシートを活用し、グループで意見交換・発表を行う。	自分の衣生活について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとしているか。
			4	住まいはどのような機能を持ち、人の生活がその機能とどうかかわっているか理解する。	教科書を基にしたレポート学習。	住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくりについて理解できたか。

評価

①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。